

未来につなぐ「エコパークゾーン」

エコパークゾーンの水域利用

エコパークゾーンをよりよい環境で未来に残すため、エコパークゾーンを利用する各団体、周辺住民、行政などが集まり自主ルールを定めました。

みんなでルールを守っていきましょう。

海の中道ゾーン

- ・動力船を使用したマリンスポーツ
- ・レジャーの利用ができる区域
- ・非動力船を使用したマリンスポーツ
- ・レジャーの利用を禁止する区域
- ・潮干狩りや、水生生物の観察などのレクリエーションを楽しむ区域

和白干潟・香住ヶ丘ゾーン

- ・マリンスポーツ・レジャーでの利用を禁止する区域
- ・潮干狩りや、水生生物の観察などのレクリエーションを楽しむ区域



対象エリア

御島ゾーン

- ・非動力船を使用したマリンスポーツ・レジャーの利用ができる区域
- ・動力船を使用したマリンスポーツ
- ・レジャーの利用を禁止する区域
- ・潮干狩りや、水生生物の観察などのレクリエーションを楽しむ区域

※水域管理・人命救助・水産資源に関する船舶を除く

エコパークゾーン の歴史

元禄 16年	1703年	黒田藩の命により和白(塩浜)で塩田による製塩を開始
安政 5年	1858年	塩浜の新堤防が完成
明治43年	1910年	明治政府の指導により製塩業が廃止
昭和11年	1936年	雁の巣飛行場が完成
昭和47年	1972年	雁の巣飛行場がアメリカより返還
昭和50年	1975年	東部水処理センター、和白水処理センターの運転開始
昭和56年	1981年	国営海の中道海浜公園開園 西戸崎水処理センターの運転開始
昭和62年	1987年	海の中道が「日本の白砂青松100選」に選定

黒:エコパークゾーンでの出来事
緑:実施した施策
青:アイランドシティの歴史

平成 元年	1989年	港湾計画の改訂(アイランドシティへの変更)
平成 3年	1991年	第1回東区花火大会開催
平成 6年	1994年	アイランドシティ工事着工
平成 8年	1996年	アオサの海域回収開始 海の中道が「日本の渚100選」に選定 「エコパークゾーン整備基本計画」策定
平成 9年	1997年	御島ゾーンの護岸整備開始(平成17年度終了) 御島ゾーンの覆砂開始(平成17年度終了) 御島ゾーンの作渚開始(平成13年度終了)
平成10年	1998年	市内全ての処理場で下水の高度処理(リン除去)完全実施
平成12年	2000年	香住ヶ丘ゾーンの護岸整備 和白干潟が環境省の重要湿地500に指定
平成13年	2001年	海の中道大橋が開通
平成14年	2002年	和白干潟が国の鳥獣保護区に指定
平成15年	2003年	塩浜地区の護岸整備開始(平成20年度終了)
平成17年	2005年	海の中道奈多海水淡水化センター「まみずピア」供用開始 御島ゾーンのアマモ場づくり開始(平成20年度終了) 「第22回全国都市緑化フェア」がアイランドシティで開催 「照葉のまち」住宅入居開始
平成18年	2006年	「和白干潟保全のつどい」立ち上げ 利用者や地域による水域利用ルールづくり
平成19年	2007年	アオサ堆肥の普及に向けた取り組み開始 下水の高度処理(窒素除去)の一部開始 アイランドシティ中央公園全面開園
平成21年	2009年	和白干潟が「にほんの里100選」に選定 御島ゾーンの香椎海岸が「第22回福岡市都市景観賞」を受賞
平成22年	2010年	エコパークゾーンガイドブック発行
平成23年	2011年	和白干潟ゾーンのアマモ場づくり開始
平成25年	2013年	あいたか橋が開通 博多港が日本初となる国際港湾協会の「港湾環境賞」を受賞
平成27年	2015年	あいたか橋が「第26回福岡市都市景観賞」を受賞 「アイランドシティはばたき公園」公園名称決定、基本計画(整備プラン)策定 御島エリアの愛称が「御島グリーンベイウォーク」に決定 御島ゾーンの市民参加アマモ場づくり開始
平成30年	2018年	「博多湾NEXT会議」立ち上げ
令和 2年	2020年	「福岡市博多湾ブルーカーボン・オフセット制度」運用開始
令和 3年	2021年	「自動車専用道路アイランドシティ線開通」